

エレクタAB 最高経営責任者（CEO）交代について

エレクタ株式会社の本社であるエレクタABの新しいCEOに、5月1日付でニクラス・サバンダー (Niklas Savander) が就任しました。

ニクラス・サバンダーは、ヒューレット・パカード社とノキア社においてさまざまなポジションを歴任し、最近までノキア社の最高執行責任者として経営責任を担っていました。

なお、前任のトーマス・プーセップ (Tomas Puusepp) は、取締役メンバーとして今後もエレクタのマーケティング戦略に注力します。

エレクタの創業者でありCEOであったローレント・レクセル (Laurent Leksell) は、「ニクラスのように経験豊富で有能な人材を迎えられたことは大変喜ばしいことです。彼は複雑に入り組んだ先端技術に関わるビジネスを深く理解すると同時に、国際的なキャリアを兼ね備えており、さらなる成長段階にあるエレクタを力強く牽引するでしょう。」と述べています。

さらに、「トーマス・プーセップは、CEOとして素晴らしい業績を残しました。彼のリーダーシップのもとでエレクタは放射線治療領域を網羅する企業に成長し、さらに今後数年以内にはマーケットにおけるリーディングカンパニーになることを目指しています。トーマスが常勤取締役として引き続きエレクタにとどまることをうれしく思います。」とローレントは述べています。

ニクラス・サバンダーは「エレクタは革新的で、健全経営が行われ、急成長を遂げている素晴らしい企業であり、私はここにいることを光栄に思います。そして、がんとたたかう人々の命や人生のためにこの企業が何を成し遂げてきたかを知り、非常に心を躍らせています。」と述べています。

エレクタについて

エレクタは、がんや脳疾患の治療分野で卓越したイノベーションやクリニカルソリューションを他に先駆けて提供している、放射線治療のパイオニア企業です。当社は放射線治療や小線源治療に関する最先端の技術を駆使して、高機能の治療装置や治療計画システム、がん治療全体のワークフローを強化し効率化する情報システムを開発しています。科学技術の限界を超え、医療従事者と患者様に信頼される高度で効率的なソリューションを提供することによって、患者様のQOL (生活の質) を高め、命をささえることを目指しています。

現在、放射線治療とニューロサイエンスにおけるエレクタのソリューションは、世界の6000以上の医療機関で使われています。エレクタはスウェーデンのストックホルム市に本社を置き、約3500人の従業員を擁しており、現在ノルディック証券取引所に上場しています。詳細は

<http://www.elekta.co.jp>をご覧ください。

<お問い合わせ先>

エレクタ株式会社 営業マーケティング本部 岡田さつき

Tel: 03-6722-3808

Mail: oncology-japan@elekta.com

<参考資料>

ニクラス・サバンダー (Niklas Savander) 略歴

- 2001年-2012年** ノキア コーポレーション (NOKIA Corporation)
同社で重要なポジションを歴任し、2010年最高執行責任者 (COO) に就任。
世界第2位の携帯電話会社である同社において、グローバルブランドマネジメント、マーケティング、コミュニケーション、セールス、チャネル開発、製造、物流、調達、ITのすべての責任を担う。グローバル全体で45000人の従業員と350億ユーロの売上を管理。
- 1997年-2001年** ノキア シーメンス ネットワークス (NOKIA-SIEMENS- NETWORKS)
※現ノキア ネットワークス(Nokia Networks)

ヒューレット・パッカード (HEWLETT PACKARD)
- 1988年** Swedish School of Economics and Business Administration (Helsinki, Finland)理学修士修了
- 1987年** University of Technology (Helsinki, Finland) 理学修士修了